

## 【注意事項】

R20TS0052JJ0100

Rev.1.00

2016.07.16 号

統合開発環境 CS+、CubeSuite+、e<sup>2</sup> studio

## 概要

統合開発環境 CS+、CubeSuite+、e<sup>2</sup> studio の使用上の注意事項を連絡します。

1. RL78 ファミリでのサブシステム・クロック動作時のオンチップデバッグエミュレータ使用に関する注意事項

## 1. RL78 ファミリでのサブシステム・クロック動作時のオンチップデバッグエミュレータ使用に関する注意事項

### 1.1 該当製品

- RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ(統合開発環境つき)  
CS+ for CC 共通部分が V3.00.00 以降
- RL78、78K ファミリ用 C コンパイラパッケージ(統合開発環境つき)  
CS+ for CA,CX 共通部分が V3.00.00 以降、または CubeSuite+ 共通部分が V2.02.00 以降
- 【無償評価版】統合開発環境 CS+ for CC  
CS+ for CC 共通部分が V3.00.00 以降
- 【無償評価版】統合開発環境 CS+ for CA,CX  
CS+ for CA,CX 共通部分が V3.00.00 以降
- 【無償評価版】統合開発環境 CubeSuite+  
CubeSuite+ 共通部分が V2.02.00 以降
- e<sup>2</sup> studio V2.2.0 以降

対象エミュレータ：E1 エミュレータ、E20 エミュレータ、E2 エミュレータ Lite

### 1.2 該当 MCU

RL78/I1D グループ、RL78/G1F グループ

### 1.3 内容

デバッグ・ツールのプロパティ パネルの [接続用設定] タブで、[クロック] → [モニタ・クロック] を“システム”に設定し、サブシステム・クロック動作中にプログラムを停止した場合、エミュレータとマイコン間に通信エラーが発生し、デバッグ・ツールが正常に動作しなくなります。

### 1.4 発生条件

以下の条件をすべて満たした場合に発生します。

- (1) マイコンのシステム・クロック制御レジスタ (CKC) の bit6 (CSS) を"1"に設定 (サブシステム・クロック選択)。
- (2) 下記の (a) または (b) のいずれかに設定している。
  - (a) マイコンのシステム・クロック制御レジスタ (CKC) の bit4 (MCM0) を"1"に設定 (メイン・システム・クロックに高速システム・クロックを選択)。
  - (b) マイコンのシステム・クロック制御レジスタ (CKC) の bit0 (MCM1) を"1"に設定 (メイン・オンチップ・オシレータ・クロックに中速オンチップ・オシレータ・クロックを選択)。

注：サブシステム・クロック動作中であっても、システム・クロック制御レジスタ (CKC) の bit4 (MCM0)を"0"に設定（メイン・システム・クロックにメイン・オンチップ・オシレータ・クロックを選択）し、かつ bit0 (MCM1) を"0"に設定（メイン・オンチップ・オシレータ・クロックに高速オンチップ・オシレータ・クロックを選択）している場合は非該当になります。

## 1.5 回避策

デバッグ・ツールの プロパティ パネルの [接続用設定] タブで、[クロック] → [モニタ・クロック] を“システム”に設定した場合は、サブシステム・クロック動作中にプログラムを停止させないでください。

## 1.6 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2016.07.16	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先

<http://japan.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。